

平成 21 年 7 月 30 日

特別講演会開催のお知らせ

流体科学研究所では、鈴木俊一客員教授をお招きし、特別講演会を開催いたします。東京電力株式会社材料技術センターにおいて、発電プラントの材料技術に関して広くご研究をされている鈴木客員教授より原子力発電設備における流動が誘起する材料損傷についてお聴きするよい機会ですので、ご関心をお持ちの方は、ぜひともご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

講師： 鈴木俊一（東北大学流体科学研究所・客員教授）

日時： 平成 21 年 8 月 3 日 (月) 13:00 ~ 14:30

場所： 東北大学流体科学研究所 1 号館 講義室

題目： BWR における SCC 研究

概要：

近年、沸騰水型原子力発電設備(BWR)における炉心シュラウド及び1次冷却水再循環系(PLR)配管の低炭素ステンレス鋼において応力腐食割れ(SCC)が発生している。低炭素ステンレス鋼は耐SCC性の高い材料であるため、社会的にも技術的にも大きな関心が寄せられている。以上を鑑み、本講演では以下の項目について概説する。

- (1) 低炭素ステンレス鋼における SCC の背景
- (2) 炉心シュラウド及び PLR 配管における SCC の特徴
- (3) 構造健全性評価
- (4) SCC 抑制技術
- (5) SCC メカニズム

連絡先： 流体科学研究所
高木 敏行
TEL 022-217-5248
Email: takagi@ifs.tohoku.ac.jp